

疫学（臨床）研究実施についてのお知らせ

大阪市立大学大学院医学研究科
核医学科

【研究課題名】

SPECT における最適なサイノグラム補間処理の決定と画質改善および短時間収集の試み

【研究期間】

倫理委員会承認後 ～ 2018 年 12 月 31 日

【研究の意義・目的】

脳血流シンチグラフィでは、脳血流の異常を伴う疾患の診断をすることができる。また、DaT スキャンではドパミン神経の変性・脱落を伴う疾患の診断をすることができる。しかし、これらの脳 SPECT 検査では高画質な画像が求められるため、長時間の撮像が必須となるが、認知症関連の診断目的が多いため可能な限り短時間での撮像が望ましい。そこで、撮像した投影像のサイノグラムに対しての最適な補間処理を決定し、画質の改善および短時間収集を図ることを目的とする。

【研究の方法】

2014 年 1 月から 3 年間に実施した脳血流シンチグラフィと DaT スキャンを対象とする。撮像した投影像を間引いたもののサイノグラムに補間処理を行う。補間処理には Bi-linear interpolation と B-spline を用いる。撮像した投影像を再構成した画像をリファレンスとし、補間処理を行ったものの再構成画像と比較を行う。

本研究対象者が参加の拒否を希望した場合、本研究対象者群から除外する。相談等への対応は研究責任者または実施分担者が行う。

【研究組織】

単施設研究

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者 東山滋明
住所 大阪府大阪市阿倍野区旭町 1-4-3
電話 06-6645-3885 (核医学科)
E-mail higashiyama@med.osaka-cu.ac.jp